

在校生の皆さんへ

看護学科第 35 期卒業

松 田 信 江

私は社会人経験を経て熊谷市医師会看護専門学校に入学しました。入学当初は、勉強から離れている時間が長い分、授業についていけるかと不安な点が多くありましたが、看護を学ぶスタートラインはみんな同じです。クラスメイトと助け合い、楽しく充実した学生生活を過ごせました。

多岐にわたる講義や技術演習、臨地実習があり、学ぶことは多いです。臨床現場で活躍されている医師や看護師の方々に講義して頂き、現場でのエピソードを交えより実践に活かせる内容を学ぶことができます。また授業は一方的に教わるだけでなく、グループ活動等を通して自分達で考える時間もあり、自主性も身についたと思います。

臨地実習では、課題の多さや求められるレベルに悩むこともありましたが、グループの仲間や、先生方が熱心に指導してくださったので心強かったです。座学では学べない患者さんとの関わりを通して、看護の奥深さを痛感する毎日の連続でした。知識・技術はもちろんのこと、自ら考え実践していく力が養われたと思います。仲間と試行錯誤しながら協力していくこと、大変でしたがとても充実していました。

海外研修や博愛祭（学園祭）などの行事があり、学生主体で運営していくため主体性を持って取り組むことができます。

3年間は長いようであつという間に日々が過ぎていきます。講義も課題も自ら学んでいってほしいと思います。仕事と両立しながら学ぶことは困難なことが多いと思いますが、ともに学びあう仲間がいます。親身になって相談に乗ってくださる先生方がいます。卒業した今でも支えてくれています。

現在は臨地実習でお世話になった病院で働いています。看護師としての責任や覚える仕事の量、患者さんとの関わり方の難しさに躓くこともありますが、学んだ知識を応用し看護を実践し、日々やりがいを感じています。病棟での看護研究を昨年実施し、学生時に学んだ基礎を生かしながらも、研究の苦しみを味わい勉強の毎日です。これからも向上心を持ち、患者さんに寄り添った、笑顔のある看護を行っていきたいと思います。